

# 令和5年度

## 第1回 北陸地方整備局事業評価監視委員会 議事録

1. 日 時：令和5年10月2日（月）14:00～15:40

2. 場 所：北陸地方整備局 4階 共用会議室（Web併用で開催）

3. 出席者：委員）佐伯委員長、高橋委員長代理、青木委員、飯野委員、小山委員、古谷委員、  
牧野委員、宮下委員、龍委員  
整備局）局長、副局長、総務部長、企画部長、建政部長、河川部長、道路部長、港湾  
空港部長、営繕部長、用地部長、統括防災官、環境調整官、地域河川調整官、  
道路調査官、河川計画課長、道路計画課長  
事務所）長岡国道事務所長、新潟国道事務所長

### 4. 審議等案件

#### 1) 道路事業の再評価

◆一般国道116号新潟西道路（新潟国道事務所） [重点審議]

#### 2) 道路事業の再評価

◆一般国道253号十日町道路・  
八箇峠道路【防】（長岡国道事務所） [重点審議]

#### 3) 道路事業の再評価

◆一般国道8号松任拡幅（金沢河川国道事務所） [一括審議]

#### 4) 砂防事業の再評価

◆神通川水系直轄砂防事業（神通川水系砂防事務所） [一括審議]

### 5. 審 議

#### 1) 道路事業の再評価 <重点審議>

◆一般国道116号新潟西道路（新潟国道事務所）

（委員）

- ・渋滞を回避するため、生活道路へと流入する抜け道利用車が発生しているというご説明でしたが、学校の児童が通っていて非常に危険である場合に、安全面において自治体の方と協議をされて安全性の確保をするということをされていると思いますが、その辺りを再度お聞きしたい。
- ・もう1点は産業面で、新潟東港から今後便利性が出てくるということですが、道路を利用する運輸や生産されている企業の皆さんとの意見交換をして進めておられるかを教えていただきたいです。

（整備局）

- ・1つ目の抜け道利用に係る交通安全については、基本的に抜け道で利用する道路は新潟市管理のため、聞き取りをさせていただいたところ、平成26年から平成30年までで死傷事故は2件、物損は20件ほど発生している状況が確認できました。交通安全については、地域の皆さまの意見を聞きながら必要なところは整備をされていると聞いていますが、抜本的な解決にはバイパスの整備が一番ということで地元の方から早期整備のご意見を頂いているので進めていきたいと思っています。

- ・企業との関係については、私どもも企業にヒアリングをさせていただいており、企業の方からも渋滞解消のご意見を聞いていますので、早期の整備を目指していきたいと思っています。

(委員)

- ・3 ページの新規事業評価からの変更点の軟弱地盤解析というところについて、ご存じの通り新潟平野は軟弱地盤が広がっているため、抜かりのない対策を進めていただきたいと思います。問題が発生した場合も当該路線は地域の生命線に近いようなものなので、地盤沈下等が起こりにくいよう丁寧に工事をしていただくということで、多少時間がかかることは仕方がないことだと思いますので、抜かりなくしていただきたいと思います。
- ・この辺りは地吹雪が発生する箇所でもあり、その辺りもしっかりと反映されるよう、冬の悪天候でも安全にモノが動くように進めていただきたいと思います。

(整備局)

- ・軟弱地盤については、地盤が悪いことは当初から分かっていたのですが、事業化をしてみて調べてみると、圧密には時間がかかることが判明しましたので、その分を今回見直しさせていただいています。既に完成している新潟西バイパスについても緩速盛土など対策をしておりますので、そういった工法を併用しながら今回の事業も進めさせていただきたいと思います。
- ・雪の問題については、高盛土の構造になるので地吹雪は起きにくい状況ではありますが、冬期管理も万全を期したいと思っていますので、状況を見ながら必要に応じて対策をしていきたいと思っています。

(委員)

- ・今回の変更点は事業評価期間の見直しということで10年から15年ということでしょうか。

(整備局)

- ・その通りです。

(委員)

- ・5年間延びるといえるのはどういうことに基づいて判断されたのでしょうか。圧密などそういった期間を考慮したのでしょうか。それ以上にかかる恐れがあるのかも気になります。

(整備局)

- ・今回、10年から15年ということで事業評価期間を見直しさせていただきました。
- ・1つは実際に地元に入ってみると個別の事情を聴いて用地買収を進めていきますが、ちょうどコロナの時期でもあったため、地元協議の日程調整を要し、その関係で2年程度延びています。
- ・それから、用地買収をするにあたり、行先を決めていただくことになるのですが、行先も極力地元をしたいという要望もあり、適地を探すためにも1年程度かかっている状況です。
- ・それから、軟弱地盤対策であり、圧密を促進させるための期間が2年程度必要だということが判明したため、合わせて5年見直しを今回させていただきました。

(委員)

- ・9 ページにコスト縮減という話がありまして、建設発生土の利用やコンクリート二次製品の活用とあります。コスト縮減をいまから見込むのは難しいと思いますが、どれくらい縮減できそうかその辺りの見込みはあるのでしょうか。

(整備局)

- ・具体的な数字はこれから出していくことにはなりますが、他事業からの発生土について、磐越道の4車線化に伴いトンネル掘削土砂が出てくるので、そちらの土を有効利用しようと計画を進めています。
- ・それから、コンクリート二次製品については、かなり大型のものでも使えるようになってきたので、そういったところを活用していきたいと考えている状況です。

(委員)

- ・3 ページの用地買収についてですが、新潟市が32%取得している話をしていましたが、そこをもう少し説明いただきたい。32%ですので執行済額1億円には入ってこないということでしょうか。
- ・8 ページの費用対効果のところ、走行経費減少便益の84億円の中に、先ほどガソリン代が入るとおっしゃっていましたが、最近はずごくガソリン代が上がっているその反映はまだしていないのでしょうか。ガソリン代はこれからどうなるかわからないので急激に上がって、ここに影響してくるとB/C変わってしまいます。ガソリン代は何年間の平均を使うのか、いつの時点のガソリンの金額を計算に取り入れていらっしゃるのか聞かせていただきたいと思います。

(整備局)

- ・まず用地買収の件ですが、面積ベースで言うと32%で進めていると説明させていただきました。これは、新潟市による先行取得であり、新潟市でいったん買っていただくものです。新潟市で買っていただいたものを後から年割で返すものであり、今回の1億円の中には入っていません。来年、再来年、その次の年度で返しのお金が乗ってくると思っていただければと思います。予算が制約されている関係上、用地買収はしたいが予算が付かない時にこういった手法を使わせていただいている状況です。
- ・走行経費の減少便益で参照しているガソリン代は、基本的に国交省で定めている単価があり、その単価は令和4年2月のものであります。来年、再来年に計算する時に単価の見直しがあればそこで反映をしていくということになっています。今回の単価については令和4年2月のものを使わせていただいています。

(委員)

- ・資料の重要性、必要性についてはよく理解できましたので方針に意義はありません。
- ・1点確認させていただきたいのは、事業期間の延長と事業費の増加の関係についてですが、事業期間の延長の理由として軟弱地盤対策があると思いますが、軟弱地盤対策の追加が必要になったことに伴って、事業費の増加が発生する恐れがあるのだろうかと考えていましたが、現時点においては事業費の増加が発生するような見通しはないと考えてよろしいかご確認をお願いいたします。

(整備局)

- ・今回については圧密を促進する期間として2年間必要としているものですので、それに伴う事業費の増はないと現時点では考えています。

(委員)

- ・5ページ目の交通事故の説明で、8割は追突事故ということで、死傷事故率も説明されていましたが、車同士の死傷事故と歩行者との死傷事故がどの程度発生しているのかデータがあれば教えていただければいいと思います。死傷事故率を分けることができるのでしょうか。

(整備局)

- ・死傷事故率については車同士の事故も含まれています。歩行者、自転車と車に関係する事故も含まれています。今回については分けておらず、けがをされた場合について死傷事故1件とカウントをさせていただいています。しっかりと分析をすればその辺の分析は可能ですが、今回については車関係の追突事故が多い点が特筆する部分ということで、こういう説明にさせていただきました。

(委員)

- ・車同士の事故と車と人との間の事故では便益評価について少し性質が違いますので、便益の計算についてデータを分けることができれば、もっと精密的な便益計算ができるのではないかと思います。

(整備局)

- ・ご意見ありがとうございます。今後の参考にさせていただきたいと思います。

(委員長)

- ・渋滞や事故のデータで季節での分析として、特に冬に速度が落ちているとか事故が起きやすいというのはないのですか。

(整備局)

- ・今回の集計について、季節は関係なしに年間の発生件数の集計をさせていただいています。必要があればそういった分析もできると思いますが、そこまで多くの雪が降る地域でもないため、そういった分析をせずに年間集計をしました。

(委員長)

- ・他にいかがでしょうか。よろしいでしょうか。
- ・それでは、ただいまご審議いただきました、一般国道116号新潟西道路につきまして、当委員会としましては事務局が作成した対応方針(原案)の通り、事業継続は妥当ということでよろしいでしょうか。(出席委員了承)

## 2) 道路事業の再評価 <重点審議>

### ◆一般国道 253 号十日町道路・八箇峠道路【防】（長岡国道事務所）

(委員)

- ・変更点ということで、地すべり地形があるため少し事業期間が延びるという話があったかと思っています。どちらにしても地すべりが出てしまうと避けるか対策するかになるかと思いますが、調査は現在行っているのでしょうか。

(整備局)

- ・まず、今回の地すべり地形については事業化後に現地の踏査ということで、実際に現地を歩いて地すべり地形があるか確認しました。その後は、地質調査でボーリング等を行います。これは現在進行形で行っています。

(委員)

- ・現在行っているとのことですが、まだ地すべりが発生しているかは分からないということでしょうか。

(整備局)

- ・そうです。計画にあたってはなるべく回避するように線形を考えています。

(委員)

- ・八箇峠トンネルの時に問題が出たかと思いますが、例えばガス等の話は上がってきているのでしょうか。もしそれがあれば対策をしなければいけないかと思っています。

(整備局)

- ・現在の十日町道路においてはガスの発生というのは確認されていません。地質に依存する内容であるため、今後調査を進めていく中で出てくる可能性は否定できないが今のところはありません。

(委員)

- ・もしガスが出た場合は少し慎重に進めていただきたいということと、この辺りの道路を利用したことがあるのですが、やはり線形が悪くて十日町市に抜けるのに大変な記憶があるので、特に冬は苦勞していた記憶があるので、新しいものができれば人の流れや物流にはかなり期待ができるので、慎重に進めていただければと思っています。

(委員)

- ・この地域は観光や産業で注目されていて、交流人口も増えている地域であると思います。資料を拝見し、産業や観光の具体的な説明があり、救急活動についても意見を聴取されているということで、この辺は魚沼基幹病院や県立病院もあり、その辺りの連携がしやすくなるのではないかと思います。
- ・事業費が 60 億円増加との説明でしたが、観光面などの事業投資効果が期待されるということで、周りから相当な期待がかかっていると思います。

(委員)

- ・事業の重要性についてよく分かりました。費用便益によらない部分として、医療や観光は最後の一手として見せるよりも、定量化は難しいと思いますが、なるべくこの辺りも数値に載せていくと説明ならびに理解がしやすいと思います。
- ・もう1点が、事業全体B/Cが0.96ということで、過去の事例を踏まえるともう少し説明しやすくなるのではないのでしょうか。似たような事例で実際に整備してみて、その後に交通量が増えたりして便益が上がったり、そういった事例があると説明ならびに理解がしやすいかと思います。

(整備局)

- ・B/Cは最低限の3便益ということでお示ししています。その数字で表せない内容について定量的な効果としてお示しさせていただいています。その3便益に載ってこないものをどうやって数値化するかについてはまた勉強しながら今後検討していかなければいけないのかと考えています。
- ・また、B/Cが1.0を割る場合の説明ぶりについても今後、先例の効果事例を見て勉強させていただければと考えております。

(委員)

- ・多くの遺跡があるが、重要な遺跡で道路にできないとなった時にはこの事業自体どの様になるのか、変更になるのかお聞きしたいです。
- ・追加で事業費が増えた部分を重点的にお聞きしたいと思っています。次に事業費が多いのは、5ページのスノーシェルターの17億円ですが、スノーシェルター自体はどれくらいの長さのものなのか、また写真はないのでしょうか。右下にトンネルのようなものが、スノーシェルターだと思いますが、素材はコンクリートなのか、トンネルみたいなものなのか、写真がないので想像できないのですが、プラス17億円もあるので少し説明していただけるとありがたいです。

(整備局)

- ・まずは1点目の重要な遺跡が出てきたらどうするかという点についてお答えします。これまでこの事業の中で多数調査をしていますが、基本的には記録保存で掘った結果を記録しておくことで事業を進めて良いという遺跡しかありません。これから調査するもので必ず同じものが出る保証はないですが、出てきた場合には遺跡の内容に応じた対応を考えていくことになるかと思っています。
- ・次にスノーシェルターですが、長さで言うと約140mです。形はトンネルのような屋根が半円系になっている形のもので、基本はほとんどがPC製になります。構造的にはそういった形になります。

(委員)

- ・140mもあるということでプラス17億円が納得できるかと思います。

(委員長)

- ・十日町道路と八箇峠道路はつながっているので一体の事業ではありますが、八箇峠の方がほぼ

終わり近づいている事業で、十日町道路がこれからでありほとんど手つかずの事業で、こういった場合、一括で事業を継続するのではなく、片方だけになった場合はどうするのでしょうか。1つの繋がっている道路なので、一括で審議は当然そうなのだろうという気もしつつ、あまりにも進捗状況が違うので、これを1つの事業として出すのはどうなのかと思うのであるが、切り分けて評価するような形にすればいいのでしょうか。

(整備局)

- ・今回、基本的には2つの事業が連続するものですから効果としては路線一体となって機能し、効果を発現するものなので、一体でご説明しています。事業化としては個々に行っており、あくまでも、それぞれの事業に対してのご審議をいただくという理解を頂ければと思います。

(委員)

- ・埋蔵文化財についてですが、この工事を考えられた時点で3箇所の文化財についての記録が、既にどのくらいあったかを聞かせていただきたいです。
- ・費用はプラス20億円ですが、この埋蔵文化財にかかる調査費用のものはいくらだったのでしょうか。例えば、一層の調査でそのくらいだったと、それで二層と三層の調査が必要であると25億円が必要で、記録データに基づいて一層だけの調査でいいということで、プラス前の調査費用を決められた。
- ・それに関連してもう少し確認させていただきたい。これからもっと深く掘って調査する可能性があるかどうか。例えば、掘ってみないとその判断はできないということもありうるのでしょうか。

(整備局)

- ・まず、今回追加となった場所については周辺で過去に調査をした実態を調べており、周りには小規模なものが点在しているだけでした。今回、追加で調査を行う場所については埋蔵文化財の必要な箇所はないという想定で当初考えておりました。実際に用地買収を行って本当にあるかないかを確認した時に見つかったということが実態であります。
- ・これからさらに増える可能性はないのかというご質問は、基本的には事前の調査の中で、ある程度どういったものがそこにあるかを把握しておりますので、基本的にはこれ以上さらに深く延びていくことはないものと想定しています。ただ、実際に掘り進めていく中で貴重なものが出てきたり、さらに深いものの調査が必要になる可能性はゼロではないとは考えています。ただ、現状の調査をした中では今回お示しした内容で調査が完了するものと想定しています。

(委員)

- ・ありがとうございました。要は、新規費用として25億円を追加してこれからまだ出てくる可能性がないわけではない。承知しました。

(委員)

- ・今回の事業の必要性というところで知事の意見が書いてあり、先ほどの案件では市長の意見ということで、主に地方公共団体の意見を聞いておられると思うのですが、それ以外の利害関係者、例えば周辺の自治体、自治会、住民の方、運送業界等、利害関係者で聞いておられる団体

や経済団体はあるのでしょうか。

(整備局)

- ・今回の事業評価にあたり、意見聴取しているのは新潟県知事のみであります。しかし、事業を進めていく中ではその前の部分でもご説明しましたが、沿線の市町村や市町村で構成する団体からも進めてほしいという応援のお言葉・ご要望をいただいておりますので、総論としてはやるべしというご意見を頂いているものと理解しています。

(委員)

- ・基本的に道路は整備してほしいと思うので、市議会議員や県会議員等、陳情があると思いますが、どの事業を優先的にするかは県間のバランスも必要かと考えているのではないかと思います。その辺はどのように決めているのでしょうか。

(整備局)

- ・一般論のお答えになろうかと思いますが、その場その場にいろいろな課題があります。事故や渋滞など、そういった課題の状況を踏まえて、優先的に事業を進めていく場所が選定されていくものと考えていただければと思います。

(委員)

- ・客観的に重要性を勘案して優先順位を決めていくということで承知しました。

(委員長)

- ・他にいかがでしょうか。よろしいでしょうか
- ・それでは、ただいまご審議いただきました、一般国道 253 号十日町道路・八箇峠道路につきまして、当委員会としましては事務局が作成した対応方針(原案)の通り、事業継続は妥当ということによろしいでしょうか。(出席委員了承)

### 3) 道路事業の再評価 <一括審議>

#### ◆一般国道 8 号松任拡幅 (金沢河川国道事務所)

##### 砂防事業の再評価 <一括審議>

#### ◆神通川水系直轄砂防事業 (神通川水系砂防事務所)

(委員)

- ・1 ページのところでは各県知事からご意見を頂いていて、コスト縮減に関しては各事業で取り組まれていると思いますが、神通川水系直轄砂防事業については、岐阜県知事から「環境への配慮」というコメントがあって、その辺りはどういう点に気を付けるのか気になりました。要望として挙がっているので、どの辺りについて気を付けていくのかを教えてくださいたいです。

(整備局)

- ・山間部で事業を進めていくにあたり、イヌワシ等の生態系に影響しないよう配慮しています。



(委員)

- ・生態系について十分に配慮されている点について承知しました。

(委員長)

- ・他にいかがでしょうか。

(委員)

- ・神通川水系直轄砂防事業について、B/Cが非常に高い効果があると出ているかと思えます。
- ・これは神通川水系に限ったことではなくて、全国的に山間部の人口がかなり減ってしまって、それに対してどう考えるかはこれから出てくるかと思えます。事業は強く進めていただきたいという私の意見はあるのですが、それに加えて今後は、流域全体で考えていかなければならない点も説明していただければありがたいと思っています。今回の事業評価の主旨とは少し変わってきますが今後少し盛り込んでいただければと思っています。

(委員長)

- ・ご意見等ないようですので、ただいまご審議いただきました、一括審議案件2件につきまして、当委員会としましては事務局が作成した対応方針(原案)の通り、事業継続は妥当ということでよろしいでしょうか。(出席委員了承)

## 7. 総括

(委員長)

- ・それでは本日の審議結果を、改めて確認させていただきたいと思えます。
- ・本委員会としまして、再評価重点審議案件2件、一括審議案件2件は全て原案の通り事業継続が妥当ということで、ご異議はございませんか。(出席委員了承)
- ・それでは事務局と調整の上、本日の委員会の議事概要を後日まとめさせていただきます。
- ・議事録につきましては、本日出席の委員の皆様に対しては後ほど事務局の方から確認させていただきます。その後の公表となります。よろしいでしょうか。(出席委員了承)
- ・委員会で用いた本日の資料の公開、非公開について確認します。ホームページ等に資料を公開するか否かにつきまして、運営要領第3条第3項におきまして、委員会の会議に提出された資料、議事録等は公開をする、ただし公開する事が適切でない委員会が判断する資料については公開しないとなっております。本日の会議で提出されました資料につきましては、全て公開という事でよろしいでしょうか。(出席委員了承)
- ・本日の審議は以上となります。進行を事務局にお返しします。

## 8. 閉会

(整備局)

- ・ありがとうございました。以上をもちまして令和5年度第1回北陸地方整備局事業再評価監視委員会を終了いたします。皆様本日はありがとうございました。

－ 以 上 －